

ほらほら幌北

第60号

令和6年11月
発行

幌北まちづくりセンターだより

より楽しく安心して暮らせるまちを目指して

幌北地区では、町内会や各団体等が様々な活動を行っています。
今号では、今年度実施された防災・交通安全に関する活動や、地域密着型のボランティアサークル「ネオロス幌北」へのインタビューを紹介します。



北区まちづくりキャラクター
「ほっぴい」

令和6年度 北区防災訓練

令和6年10月3日、幌北小学校で北区防災訓練が行われました。訓練には、幌北小学校4年生の児童約60人と幌北連合町内会を中心とした地域住民など約90人が参加しました。

- 段ボールベットの組み立て
- 車いすの操作訓練
- 水消火器を使用した消火体験



- 備蓄庫、給水設備等の確認

- 各種展示

- ・ 防災グッズ、防災関連備品
(協力：札幌市防災協会、北消防署)

- ・ 防災協力自動販売機

(協力：北海道コカ・コーラボトリング(株))

- ・ 給電設備を備えた次世代自動車

(協力：北海道日産自動車(株)、ネットヨタ札幌(株))



「ほっぴい」と
北海道日産オリジナルキャラクター
「ほくにっち君」も
応援に駆け付けたよ!



R 5年度代表
西本 桃花さんR 6年度代表
伊東 日和さん

Neolos (ネオロス) 幌北

北海道大学の学生が夏祭りの手伝いを行ったことをきっかけとして、幌北地区で「根を下ろす」活動をしたという思いから、平成19年に学生と地域住民で組織された。

幌北小学校、幌北児童会館、北区社会福祉協議会などとも連携しながら、幌北地区をより魅力的で住みやすい場所にすることを目指し活動している。

～今年度の活動の一部を紹介～

●スマホ茶話会

令和5年度から実施。おしゃべりをしながら、参加者にスマートフォンの使い方を教える。

●留学生交流会

平成19年度から実施。地域住民と留学生の交流促進を目的とし、海外の文化紹介等を行う。

●ネオロスフェス

令和5年度から実施。地域での多世代交流を目的とし、子ども向けの多彩な催しを行う。

? ネオロス幌北に入ったきっかけは？

伊東：私は北大に入るまで、住民同士の関わりが深い地域に住んでいました。そのような繋がりを素敵だなと思っており、札幌でも、ネオロスでの活動を通じて地域の方との交流やお手伝いできれば、と思い参加しました。

西本：私はボランティアに興味があったのですが、一人ではなく皆で活動できるボランティアサークルを探す中で、ネオロスを見つけ参加しました。

? 北大で地域密着型のボランティアサークルはネオロス幌北だけですか？

西本：他にもありますが、活動範囲を北大周辺の地域に限定するとネオロスだけだと思います。私はせっかく北大に入ったので、北大周辺のことをもっと知りたいな、と思い、ネオロスに参加しました。



? R5年度からスマホ茶話会を行っていますが、どんな経緯で実施することになったのですか？

西本：高齢の方は、冬になると外出が減り、会って元気かどうか確認できる機会が少なくなるため、スマホで「顔を見ながらおしゃべりできるように」ということで始まったものです。

回数を重ねる中で、地域の方から「また誘ってね」「次はいつなの？」等のお言葉を頂いており、一定のニーズがあると感じています。



▲スマホ茶話会

和気あいあいとした雰囲気が好評です

地域のイベントは様々な人の想いが集まって出来ていくと感じています。

？ スマホ茶話会で苦労したエピソードがあれば教えてください。

西本：最初の頃は、参加人数に対して、教える学生の数がかなり少なく、教えるまでの待ち時間が長くなることがありました。また、地域の方が持っている携帯は私たちが持っているスマホと種類が違うので、使い方が全くわからず教えられないこともありました。

今は、「機種名」や「知りたいこと」を事前に情報収集した上で、茶話会を行っています。

？ 6月に行った留学生交流会は、様々な国籍の方が参加し内容も充実していました。準備も大変だったと思うのですが、参加者はどのように集めたのですか？

伊東：最初は、私たちが受講している授業に出席している留学生に参加してもらおうつもりでしたが、日程が合わない等の理由で人数が集まりませんでした。最終的には、留学生の受講者が多い建物内にあるラウンジで声掛けを行いました。



▲留学生交流会
様々な国の文化について学びました



▲グループに分かれて自己紹介

？ これまでの活動で、一番心に残った出来事を教えてください。

伊東：私個人の話になってしまいますが、外国語を学ぶのが好きで、ポーランド語を少し勉強していたのですが、留学生交流会にポーランドの方が来て少し話をすることが出来ました。自分が大学で学んだことを、ネオロスの活動の中で実際に活かせることがすごく嬉しかったです。

西本：昨年度、幌北児童会館で初めて「ネオロスフェス」という企画を実施しました。準備期間も短く、当時は子どもが苦手な児童会館に行くのも怖かったのですが、何度も当時の館長たちと打ち合わせをする中で、「地域のイベントは様々な人の想いが集まって出来ていくんだ」と感じました。また、子どもと一緒に作業する中で「今の子どもたちは色々なことを考えているんだ」ということがわかって面白く感じました。大学生のうちに、自分たちで一つの企画を達成することは、本当に限られた人しかできないと思います。そのような機会を頂けたことがとても嬉しかったです。



▲10月に開催したネオロスフェス。
今回は100人以上の子どもたちが参加しました

？ 最後に、地域の人たちにメッセージをお願いします。

伊東：地域の方がみなさんとてもやさしくて、そのお気持ちに触れる中で「もっとがんばろう」と思えるし、とても素敵な気持ちになれます。本当にいつもありがとうございます。

地域の方の優しい気持ちに触れる中で
「もっとがんばろう」と思えます。



交通安全運動

幌北地区では、幌北連合町内会交通部、幌北交通安全実践会、幌北交通安全母の会が連携して街頭啓発や通学路における見守り活動等を実施しています。

当地区では、令和3年9月29日から交通死亡事故が発生していない状況が続いており、交通事故死ゼロ1000日を達成したことを受けて、令和6年6月25日に、佐藤北区長から表彰状が授与されました。



◀写真左から
幌北交通安全母の会 三浦会長
佐藤北区長
幌北連合町内会 小田島会長
幌北連合町内会 松村交通部長
幌北交通安全実践会 田中会長



▲街頭啓発



▲見守り活動

地域活動の紹介

地域における様々な活動の様子は、以下の場所やHPでも紹介しています。

【まちづくりセンター内の掲示板】

【北区HP】

【まちづくりセンターHP】

見に来てね！



〈編集・発行〉

幌北まちづくりセンター

〒001-0017 札幌市北区北17条西5丁目1-7
TEL:011-726-6345 FAX:011-726-2765



さっぽろ市
02-Q01-24-1713
R6-2-1185

SAPPORO